



福祉社会への道を照らす 愛の灯台
～一隅を照らす実践、地域への貢献～ No.87



**特集① 新生活と共に新年を迎えて
新たなグループホーム「宮前の家」完成**

一人ひとりの体験が育む、思いやりと共生の心
～山王小学校との福祉学習～

地域ケア圏域推進会議とは?
～ともにより良い地域を作っていくために～

From 愛光後援会 愛の灯台基金だより

ボランティア表彰 / 感謝のコーナー / 日誌抄録 / 編集後記

ワークショップかぶらぎ受託業務のご案内 / 競輪補助事業完了のお知らせ

新生活と共に 新年を迎えて



新年あけましておめでとうございます。
2026年新春号の特集は、このたび新たに愛光の事業に加わった障害のある方向けのグループホーム「宮前の家」についてです。
親元を初めて離れるという方、一人暮らしをしていたがサポートが必要になった方などが、新たな暮らしをスタートさせています。

入居している方は日中は福祉施設などで働き、この宮前の家に帰宅する生活が主になります。
期待と少しの不安もありながら暮らしを始めた彼らの様子をインタビューを交えてご紹介しつつ、ホームの立ち上げに関わったスタッフのコメントなどから宮前の家に込められた想いを感じただければと思います。

宮前の家は、京成佐倉駅北側、宮前地区と山崎地区の境界あたりに位置しています。駅やスーパーまでは歩いて10分ほど。北へ向かえば岩名運動公園へも近く、散歩や運動にちょうど良い立地でもあります。造りは武骨な「施設」というものではなく「家」として周囲になじむようなイメージを大切にハウスメーカーと協議しつつ進めました。
(グループホームプロジェクトメンバーより)



立地・造り



建設中の様子



スタッフより

管理者：高橋



宮前の家では、入居者の方々がこれまで過ごされてきた生活を大切にしつつ、より自立した生活が送れるよう支援しています。

今後、宮前の家が地域に根付いたグループホームとなれるよう、職員一丸となって取り組んでいます。

グループホーム宮前の家
佐倉市山崎350-5
TEL 070-6456-5547



入居者の声



「自分でできることは自分で！」と、グループホームへの入居を決めた長谷川さん。
2年ほど前からグループホームでの暮らしを視野に入れていたそうです。

今回、宮前の家へ入居が決まり、視覚障害があるため他のメンバーとの関係にちょっと不安もあったそうですが、入居に向けた準備としてご家族と家具を選びに行ったり、グループホームから駅までの道を歩く練習などを重ねてきました。

インタビュー

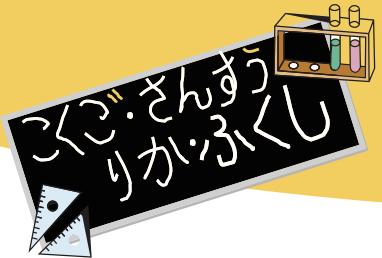
○宮前の家の住み心地をお聞かせください。
-学生時代、寄宿舎にいた時期もあり、イメージはできていました。すぐに食卓や風呂、トイレなどの場所を覚え、今は他の入居者の部屋を覚えているところです。

○今後の期待していることをお聞かせください。
-複数人で暮らしているので、季節ごとに行事ができたら楽しいのではないかと思っています。
今後、色々なことに挑戦し、地域の人たちにも自分たちのことを知ってほしいと思います。

一人ひとりの体験が育む、思いやりと共生の心

～山王小学校との福祉学習～

愛光では、地域の子どもたちに「福祉」を身近に感じてもらうため、これまで近隣の小中学校と連携した福祉学習を続けてきました。今回の特集は、長年交流のある山王小学校との取り組みです。今年は新たな試みとして、**学年ごとに体験内容を分けて実施しました。**



1・2年生



花壇植え替え

愛光の園芸班の利用者と一緒に、地域や山王小構内の花壇の植え替えを行いました。ボランティアの学生や職員など、いろいろな人が集まって手入れをする中で、自然と笑顔や会話が生まれ、みんなでつながりを感じられる時間になったのではないかでしょうか。



3・4年生



視覚障害者体験

ガイドヘルプ体験と点字学習を行いました。「目が見えないって、こんなに怖いんだ」「音がこんなに近くに感じるんだ」。ガイドヘルプでは、最初は戸惑いながら不安そうに歩く姿もありましたが、次第に相手を信頼し声をかけ合いながら進めるように。階段や障害物では慎重に助け合う姿が、とても印象的でした。

5年生



車イス体験

最初は戸惑っていた子どもたちも何度か体験を重ねるうちに少しずつ余裕が出てきました。「ここ声かけあった方が安心するよ」と自然に声をかけ合ったり、段差をうまく越えられたときには思わず笑顔がこぼれたり。福祉を身近に感じられる、とても貴重な時間になりました。



6年生



ボッチャ体験

愛光の利用者と6年生が混合チームでボッチャ対決！目が見えない利用者にどこに投げるか伝えるはどうしたらいいか、みんなで相談しながら楽しくプレイしました。体験中も笑い声や会話が絶えず、勝ったときにはハイタッチ！利用者にとっても子どもたちにとっても、貴重な体験になりました。

感じて 考えて つながる

福祉学習

こうした体験を通じて、子どもたちが「感じて・考えて・つながる」ことを体感し、福祉や共生社会への理解を深めてもらうことの意義を改めて実感する時間となりました。私たちは、一人ひとりの体験が、未来の社会を支える大切な一歩になることを願っています。

地域ケア圏域推進会議とは？

～ともにより良い地域を作っていくために～



地域包括支援センターは地域住民や地域に関わっている団体の方々と一緒に、地域の課題発見や解決に向けての話し合い(地域ケア会議)を定期的に開催しています。

右の図の通り、地域ケア会議は規模や対象によって4種類に分かれています。そのうち今回は地域の課題や繋がりに焦点を当てた『地域ケア圏域推進会議』について紹介します。

地域ケア会議の種類

地域ケア推進会議(市主催)

目的：把握された地域課題について、地域づくりや必要な資源の開発の検討、並びに施策の立案及び社会基盤の整備を行う。

地域ケア圏域推進会議（包括主催）

目的：個別会議で抽出された地域の課題を検討。
参加者：民生委員・町内会役員・地域の医療・介護関係職員

地域ケア個別会議（包括主催）

目的：個別困難ケースの課題解決に向けた検討。
参加者：ご本人に関わっている方。各医療・介護専門職。サービス事業所。

介護予防のための地域ケア個別会議（包括主催）

目的：介護予防・自立支援に着目したケースの検討。地域課題の発見。
参加者：会議の課題により変わる。各医療・介護専門職。サービス事業所。



昨年8月、佐倉市春路地区を対象に地域ケア圏域推進会議を開催。「災害時に備えて、地域との繋がりについて考える」をテーマに地域の方(地域活動団体、民生委員、自主防災会、まちづくり協議会)と専門職の方(ケアマネジャー、くらしサポートセンター、看護師、薬剤師)で話し合いを行いました。

まず、地域住民の皆さんに地域での取り組みを紹介してもらい、活動する中で大変だと感じていることを共有し、春路地区が抱える地域課題を抽出しました。その後はグループワークを行い、地域の方と専門職それぞれの視点から「あつたらしいな」と思うアイデアや、それぞれの立場でできることを付箋で貼り出していました。



グループワークでは「同居している家族が就労に出てしまうため、日中は独居になる高齢者が多い」、「集まれる場所があってもそこに行く手段がない」、「災害時にはできることも限られてしまうので、日頃から地域での繋がりを作ておくことが必要」、「住民同士の関係作りのために集会所などを有効活用してはどうか」など活発な意見交換をすることができました。また、地域の方、専門職がお互いのことを知り、繋がっていくきっかけにもなりました。

今後も地域ケア会議を通して地域の方々と専門職が繋がり、より良い地域を作っていくきっかけになればと思っています。

～地域包括支援センターとは～

高齢者の総合相談窓口で、介護保険に関する相談をはじめ、権利擁護、介護予防、認知症施策推進などの事業もおこなっています。保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員の3職種で構成されている、地域の高齢者を支える相談機関です。

2024年度 愛光後援会 愛の灯台基金 決算書
(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

科 目	予 算 額	決 算 額	付 記
年会費	840,000	561,000	147名
行事収入	10,000	5,040	
愛光秋まつり	10,000	5,040	
あいとひかりのコンサート	0		
寄附金収入	0	4,000	
雑収入	8	15,427 定額貯金 普通預金利息	
収入合計(1)	850,008	585,467	
事業費	735,000	703,065	
事業運営費	260,000	219,900	
愛の灯台花壇	220,000	219,900 全3か所年2回植替え	
入会御礼品	40,000	0	
あいとひかりのコンサート	0	0	
行事運営費	65,000	65,560	
愛光秋まつり	15,000	15,049	
ハリオーラー上映会	0		
ギャラリーアート展	20,000	21,865	
灯台カフェ	30,000	28,646	
まつとタイム(桂文雀独演会)	0		
助成金	410,000	417,605	
地域各種行事	180,000	145,000	
山王夏祭り	10,000	10,000	
千葉県視覚障害者福祉会	10,000	10,000	
根郷福祉まつり	10,000	10,000	
鎌木町祭り	5,000	5,000	
根郷ガーデンカップ	50,000	50,000	
宮前ローズタウン自治会	5,000	0	
こども食堂(ねっこ食堂)	20,000	20,000	
こども食堂(寺崎食堂)	20,000	20,000	
こども食堂(ミライ食堂)	20,000	20,000	
こども食堂(ばらっぱ食堂)	30,000	30,000	
まつとタイム(児童センター)	40,000	40,000	
Aikohフォーラム(包括)	70,000	68,995	
愛光秋まつり	30,000	35,210	
義理金	0		
ボランティア保険	80,000	88,400 法人128名 千葉協5万円	
ファミリーフェスタ	10,000	10,000	
事務費	90,000	63,171	
事務消耗品費	30,000	14,425	
通信費	25,000	12,434	
会議費	15,000	20,094	
支払手数料	20,000	16,218	
予備費	25,008	0	
支出合計(2)	850,008	766,236	
当期収支差額(3)=(1)-(2)	0	-180,769	
前年度総越金(4)	6,154,224	6,154,224	
次年度総越金(3)+(4)	6,154,224	5,973,455	

② 貸借対照表 (2025年6月30日 現在)							
資産の部			負債の部				
科目	当年度末	前年度末	増減	科目	当年度末	前年度末	増減
現金	10,000	0	10,000	前受金	0	6,000	-6,000
小口現金	12,685	1,193	11,492	負債合計	0	6,000	-6,000
普通預金(京葉銀行)	131,979	596,069	-464,090	純資産の部			
普通預金(ゆうちょ銀行)	1,803,594	1,535,962	267,632	次年度総越金	5,973,455	6,154,224	-180,769
定額貯金(ゆうちょ銀行)	4,015,197	4,000,000	15,197	純資産合計	5,973,455	6,154,224	-180,769
未収金	0	27,000	-27,000				
資産合計	5,973,455	6,160,224	-186,769	負債・純資産合計	5,973,455	6,160,224	-186,769

愛光後援会
愛の灯台基金
ご入会・お問合せはこちら

043-484-6398

(受付時間:午前9時~午後5時)

〒285-0807
千葉県佐倉市山王2-37-9

ホームページ
はこちらから



2024年度 事業報告

★灯台カフェの開店

コロナ禍で減少した面会機会の代替として、利用者と家族の交流カフェを開催しました。久しぶりの対面に喜び合う様子や、コーヒーとロールケーキを囲み穏やかに語り合う姿が印象的でした。リホープ利用者と職員による生演奏や、学生ボランティアの丁寧な接客、運営委員の尽力もあり、なごやかな雰囲気となりました。参加者からは喜びの声が多数寄せられました。

①3/16(日) めいわ 72名参加

②4/27(日) ルミエール 57名参加

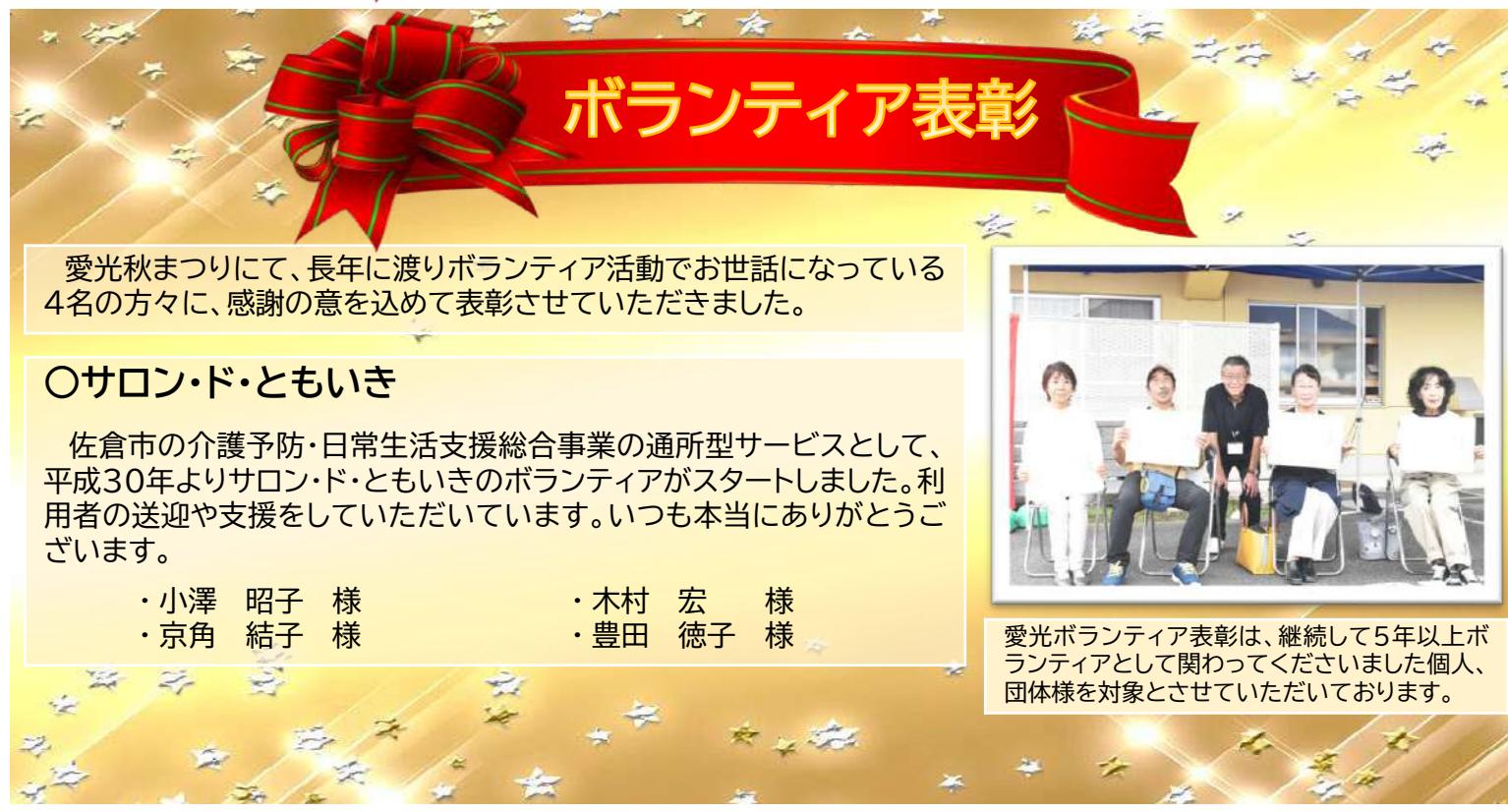


☆こども食堂 ばらっぱ食堂へ助成

2025年3月21日、佐倉市和田地区に誕生した「こども食堂 ばらっぱ食堂」へ助成をさせていただきました。和田公民館という地域の強みを活かした食堂で、昼食時に開催されています。当日は交流を楽しむ高齢者の方々や学童の子どもたちも利用しており、多世代が自然に集う温かな光景が印象的でした。地域に根差したこの大切な居場所を、私たちはこれからも応援していきます。



ホームページ
はこちらから



愛光秋まつりにて、長年に渡りボランティア活動でお世話になっている4名の方々に、感謝の意を込めて表彰させていただきました。

○サロン・ド・ともいき

佐倉市の介護予防・日常生活支援総合事業の通所型サービスとして、平成30年よりサロン・ド・ともいきのボランティアがスタートしました。利用者の送迎や支援をしていただいている。いつも本当にありがとうございます。

・小澤 昭子 様
・京角 結子 様

・木村 宏 様
・豊田 徳子 様

愛光ボランティア表彰は、継続して5年以上ボランティアとして関わってくださいました個人、団体様を対象とさせていただいております。

感謝のコーナー (2025.8 ~ 2025.11)

法人ならびに各施設に対して、ご芳志をいただいた皆様です。厚く御礼申しあげます。
勝手ながら敬称を省略させていただきます。(順不同)

【個人】 宮嶋としえ 曽谷高之 遠藤とも子 内藤寛子 滑川里美 小川裕二 池田勝也 酒井綱一郎 宮野祥子
関山春菜 星初枝 有山賢一

【団体】 さくら山王自治会 愛の灯台基金 千葉県視覚障害者福祉協会 株式会社 栄光保険事務所 わらいの場
愛光 家族協議会

日誌抄録

(2025.8 ~ 2025.11)

8月

- 1日 辞令交付式
- 5日 看取りケア研修
- 8日 5S研修
- 13日 コ・ヒューマントレーニング
- 19日 南図書館販売会
- 20日 地域食堂ともいき
- 25日 個人情報保護研修
- 30日 Aikohフォーラム「将来への備え」

9月

- 6日 理事会
- 9日 南図書館販売会
- 10日 経営層マネジメントトレーニング
- 11日 根郷中福祉学習

10月

- 4日 愛光秋まつり
- 8日 コ・ヒューマンフォローアップ研修
- 9日 5S研修
- 10日 3年目交流会
- 11日 宮前の家落成式
- 15日 地域食堂ともいき
- 31日 愛光創立70周年記念式典

11月

- 6日 権利擁護研修
- 10日 2年目交流会
- 14日 5S研修
- 18日 南図書館販売会
- 19日 地域食堂ともいき
- 20日 コ・ヒューマントレーニング
- 22日 山王ゼロ円バザー
- 22日 BCP対策研修
- 26日 山王小福祉学習
- 29日 理事会



編集後記

4月から愛光の広報誌発行に携わらせていただいている。広報誌には、愛光の取り組みだけではなく、佐倉の地域福祉の活性化につながるような記事も多く、記事作りに関わることで私自身も佐倉という土地をより深く知る機会になっています。(花澤)

編集委員

宮部和樹(ワークショップかぶらぎ・委員長) / 花澤直忠(ルミエール) / 関谷篤史(めいわ) / 関谷景子(リホープ) / 岩井聰子(根郷通所センター) / 山崎涼子(はちす苑) / 岩崎秀夫(南部包括支援センター) / 高橋飛鳥(ワークショップかぶらぎ) / 斎藤理江(学童) / 須藤譲(本部)

2026年(令和8年)1月16日発行
社会福祉法人 愛光
発行人 西原弘明
編集人 広報委員会
〒285-0807千葉県佐倉市山王2-37-9
TEL.043-484-6391
FAX.043-484-6396
E-MAIL mail@rc-aikoh.or.jp
URL https://www.rc-aikoh.or.jp
印刷:ワークショップかぶらぎ

ワークショップかぶらぎ受託業務のご案内



施設の信頼を高めます

清潔感が、



お試しトライアル清掃
も実施いたします



福祉施設の床、トイレ、窓、落ち葉の清掃等おまかせください。

作業時間

- ①10:00 ~ 12:00
- ②13:00 ~ 15:00
- 応相談・祝日対応可

時間単価

1,080円
作業者2名 (ほかスタッフ1名付)
1日の作業時間2時間の場合
4,320円 / 日

事業所様のニーズに応じます

介護職の業務が多く清掃まで行き届かない
クリーンスタッフが集まらない
数日の短期業務、年間契約いすれも対応可能

お問合せ・ご相談はワークショップかぶらぎ 043-486-6335 担当：宮部・高橋

競輪補助事業完了のお知らせ

この度、公益財団法人JKA補助事業を受け、社会福祉法人愛光障害者支援施設ルミエールに特殊浴槽を導入いたしました。

従来使用していたミスト浴に比べ、身体をしっかりと温めることができ、利用者様へ快適で安全な入浴を提供することができております。

また職員にとっても身体への負担が軽減され、ゆとりを持った入浴支援が行えています。

公益財団法人JKAをはじめとする関係者の皆様へ衷心より感謝申し上げます。

